

環境 ISO 宣言の取組について

環境プロジェクトの最初の活動は、全生徒にアンケートをとり実態を把握することでした。アンケート結果をもとにプロジェクトメンバーで、玉中生の環境に対する意識を高めるための宣言内容を考え、9月にリモートによる全校集会を通して右のような宣言を行いました。

全校集会での宣言の際には、「ISO」とは何か、という説明をしました。皆さんは覚えていますか？「ISO」とは、International Organization for Standardizationの略称で、「国際標準化機構」のことをいいます。ここが定めた国際的な基準にそって、地球規模で課題となっている“環境保全”のためにできることを企業などが取り組んでいるものです。この学校版として今回取り組む内容を決めていきました。

2月には生徒の意識の変化を探るために再度アンケートを行いました。その結果、「こまめに電気や扇風機を消しているか」という質問に対して、心がけていると回答した人が79%から85%へ上昇していたり、「ゴミ拾いや草取りなどのボランティアに積極的に参加していますか」という質問に関しては、55%から87%へ上昇していたりしました。

この結果から、取組を通じて意識の高まりがみられ、これまでの活動に大きな意味があったなと感じています。

また、「ペットボトルキャップの回収に協力しましたか」という質問に関しては、「協力した」人は全校生徒のうち65人でした。クラスあたり平均約4人という結果となり、よりボランティアの意識を高めることが今の玉中生に必要なことかもしれません。

この環境 ISO プロジェクトを通して、みなさんが環境についてよく考えるきっかけとなればと思います。現在、環境問題はどんどん深刻化しています。環境問題には地球温暖化や大気汚染など様々ありますが、一人で解決できるほど単純なものではありません。一人一人が地道に取り組んでいく必要があります。このことを中学生のうちに学んで、意識しながら生活していきましょう。

「環境プロジェクト」 令和5年度玉名中学校

環境 ISO 宣言

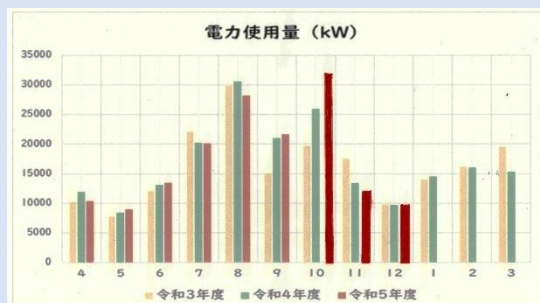
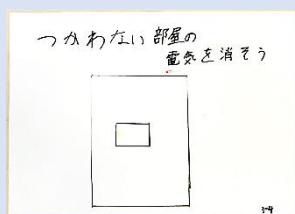
～環境に優しい学校をめざして～

- ①【節電】 移動教室の時は電気や扇風機を消します
- ②【節水】 清掃のときはバケツを使います
- ③【節水】 歯磨きのときはコップを使います
- ④【緑化】 水かけや花がら摘みを日常的に行います
- ⑤【エコ】 ペットボトルキャップを集めます

環境美化委員会・園芸委員会・人権ボランティア委員会

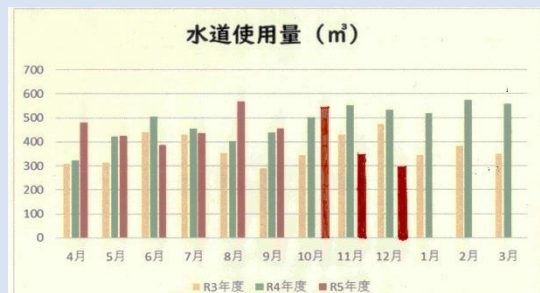
—環境・美化委員会—

- ①【節電】 移動教室の時は電気や扇風機を消します
- ②【節水】 清掃の時はバケツを使います
- ③【節水】 歯磨きのときはコップを使います



私たちは、アンケートを行った結果、節水や節電に対する意識が少し足りないと感じたので、この宣言にしました。環境美化委員会ではこの宣言を達成するために、環境美化委員がクラスの皆さんに伝えたり、ポスターを作成したりしました。これらの活動から、電気使用量、水道使用量に関しては令和3、4年度と比べ、令和5年度は減少が見受けられ、事務の先生方から高評価を頂きました。

その他に玉中生の環境に対する意識の向上などをアンケートなどから感じることができました。来年度からは、新委員長・副委員長が引っ張っていくこととなりますが、環境に関する活動などをもっと活発化し、頑張ってもらいたいと思います。(福田萌音)



—園芸委員会—

- ④【緑化】 水かけや花がら摘みを日常的に行います

なぜこの宣言にしたかと言うと、就任したころは花壇の手入れがなくてあまり綺麗とは言えず、寂しい印象があったためこの宣言にしました。

園芸委員会ではこの宣言を実行するために、夏に水かけ・草取りなどの活動をしました。冬は朝の水かけが必要ないため日常的な活動を行えなかったため、園芸委員会の人以外にも花壇(学級園)に関わってもらえるよう「学級園一斉草取り」を行いました。おかげで花壇の雑草がなくなりきれいな花壇にすることができました。地道な活動がメインでしたが、毎日こつこつやることで玉中の緑化に近づけたと思います。他にも、地域の方々や築山花づくり部会の方々に指導してもらい、PTAの方々と一緒に苗植えなどをし去年までできなかった交流の機会ができました。

これからは、旧委員長・副委員長ではなく新委員長・副委員長に代わりますがこれまで以上に玉中が自然豊かになっていくと思います。いつ見てもきれいな花壇といえるまでもう一歩というところもあったので新委員長・副委員長には頑張ってもらいたいです！(渡部楽)



—人権・ボランティア委員会—

- ⑤【エコ】 ペットボトルキャップを集めます

人権ボランティア委員会では環境 ISO 宣言として、『ペットボトルキャップの回収』を宣言しました。今回のペットボトルキャップの回収では、16袋分集まりました。前年度にどれくらい集まっていたかは把握していませんが、先生からはたくさん集まったと高評価をいただきました。

人権ボランティア委員会では、環境に関わる活動だと、ペットボトルキャップの回収以外に書き損じはがきの回収も行っています。書き損じはがきの回収では、一年に一回しか行わないので枚数的には少ないかもしれませんが、200枚以上集めることができました。そもそもはがきを書かないという人たちもいる中で、この枚数は結構集まったのではないかなと思います。たくさんのご協力ありがとうございました。来年度のご協力もお願いいたします。



そして、今後は新委員長・副委員長が委員会を引っ張っていく立場になるので、委員会やプロジェクトをより良いものにしてほしいです。(大石啓士郎)

「みんなで環境保全！ ～ゴミ拾い～」

みなさんは私生活のなかでゴミ拾いをどのくらいしますか？

ゴミ拾いは環境ボランティアのなかで最も身近な環境ボランティアです。ゴミ拾いは、SDGsの11番「住み続けられるまちづくりを」と14番の「海の豊かさを守ろう」に貢献でき、昨今問題視されている、海洋汚染への対策にもつながります。

また、玉名では、毎年10月に鍋松原海岸浴場(岱明)、12月に菊池川堤防のハゼ並木の清掃など、環境保全活動が毎年行われているのでみなさんもぜひ、地域の環境ボランティアに参加してみましょう。

齊藤勇心



生徒のエコアイデア

環境プロジェクトでは、これまで身近なエコ活動を知ってもらうために、放送や掲示を通して取り組みやすいエコ活動をいくつか紹介してきました。その中から、アンケートで多くの生徒が実践してみたいと答えた「カイロの無駄遣いを減らす節約術」と、「玉名市が環境保全として行っているゴミ拾い」について紹介します。

環境美化委員会 高木 志伊

カイロの節約

- ①一日使ったカイロをそのままジップロックに入れて真空状態にしてしておく
 - ②次の日ジップロックから取り出して振ると、あたたかくなり、もう一度使える！
- ・実際にやってみて、一日目ほどはあたたかくなりませんでしたでしたが、十分あたたまるくらいの温度と保温時間でした。



みなさん、冬にカイロを使ったことがありますよね。使い捨てカイロは一日しか使えないのはもったいないと思ったことがある人もいると思います。2, 3年生は習ったと思いますが、カイロは、鉄と酸素が化合する「酸化」によって、熱を発生しています。

カイロの保温時間は18～20時間です。1日に約10時間使うとして、保温時間は8～10時間残ります。そのまま捨ててしまうと、8～10時間分無駄にすることになるので、そうならないためにもカイロを節約することをおすすめします。

まず、カイロの中の鉄粉がこれ以上酸化するのを防ぐために、カイロをそのままジップロックに入れて真空状態にします。次の日、ジップロックから取り出して振ると、あたたかくなり、もう一度使うことができます。

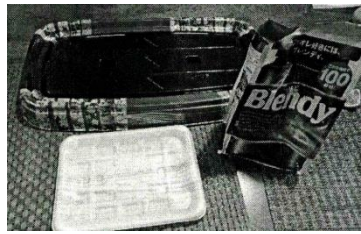
実際にやってみて、1日目ほどはあたたかくなりませんでしたでしたが、十分あたたまるくらいの温度と保温時間でした。カイロを無駄にしないためにも、ぜひ、皆さんもカイロを節約してみてください。

『プラごみ削減！』

宮崎文子先生

食品が入っていたトレーは洗ってリサイクル、インスタントコーヒーはビン入りを買わずに詰め替え用を買うようにしています。

それでもプラごみは発生してしまうので、容器を使わず「量り売り」のシステムがあればいいのに…と思います。



先生のエコアイデア

玉名中の先生方が日頃から取り組んでおられるエコアイデアについて紹介します。私たちの身近にあり、取り組みやすいエコアイデアがたくさんあるので、みなさんもぜひ参考にしてみてください。

『お残しはゆるしまへんで～』

上田寿子先生

食品ロスが出ないように心がけています。給食は残らないようにつぎ分け、みんなで協力し、残菜0を目指しています。家でも、買った食材を最後まで使い切ることができるように頑張っています。また、少々賞味期限が切れても食べます。



『いつも買うエコパック』

和田良子先生

シャンプーやコンディショナー、食器洗剤や洗濯の漂白剤など、日用品の多くをエコパックで買うようにしています。ボトルもおしゃれな物にしたり、詰め替えが楽な物にしたりすると、全然面倒じゃなく、暮らしていてテンションが上がります↑。



みなさんのおうちでも実践されているのでは？

東幹太先生
最近ではエコ活動やSDGsに貢献している商品や企業の品物を買うようにしています。例えば、ユニクロの「JOIN:THE POWER CLOTHING」プロジェクトに賛同し、リサイクルポリエステル素材を使用したフリースアイテムを購入しています。海洋ごみ削減製品を選び、環境への意識を日常生活に取り入れることが大切だと感じています。



『貯まるのは・・・』

志水雅子先生

プラスチック、ペットボトル、紙、ダンボールなど、分別しています。ゴミとしてではなくできる限り資源として再利用されるように。

『家庭で気を付けていること』

坂田安信先生

節電：エアコンの設定温度を夏は28度、冬は20度位の温度で過ごしています。
節水：夏場はお風呂を沸かす回数を減らし、シャワーを使っています。

『ペットボトルキャップ集め』

西亜希子先生

ペットボトルキャップは、袋を決めておき、そこに毎回入れる！

『残菜の利用』

岡部雅文先生

残菜(魚や肉の骨は除く)をコンボという容器又は段ボールにビニールを敷いて作ってもよい土を入れて野菜等の肥料として利用しています。

『衣服のリサイクル』

才藤久美子先生

クローゼットの中を季節ごとに整理することを心がけています。
☆ハンガーの数を増やさないために…
2年以上着ていない物は以下のようにしています。

1. アパレル会社のリサイクルに出す
 2. 着てくれそうな人に譲る
 3. 古着 de ワクチンに送る
- 食品ロスのようにファッションロスも大きな課題となっています。廃棄する前に自分にできることを考えていきたいですね。

『牛乳パックをリサイクルへ』

土本秀明先生

自宅で飲んだ空の牛乳パックをハサミで切って開き、重ねてリサイクルに出しています。

『メモ帳の作成』

松本将喜先生

裏紙を利用して職員室の電話の所にメモ帳を作成し、置いています。

『コンタクトレンズ集め』

日高孝祐先生

コンタクトレンズを毎日付け替えていると、大量の空き容器が出ます。この空き容器がリサイクルとして回収されていることを1年程前に知り、それから集めるようになりました。ただどこで回収されているかまだ知りません。回収されているところを見つけたら、ぜひ教えてください。



『リサイクル前に減らすこと』

堀尾直史先生

私の住んでいる地域では「資源ごみ回収」としてアルミ缶、スチール缶、ペットボトル、新聞紙、段ボールを集めていますので、家ではそれぞれ分別して出しています。生ごみは庭のコンポストで肥料にしています。

『分別の鬼！？』

城戸弓絵先生

教室で配布されたプリントの余りは、必ず再利用又はリサイクルに回します。家庭では、小さな紙もごみ箱に捨てず、家庭内のリサイクルボックスに入れ、地域の資源ごみ回収の日を持っていくようにしています。ごみ捨ても少なくなり、「一石二鳥」です。
日高先生へ：市内のコンタクトレンズ屋さんにあるらしいです。